

## 特集にあたって

近年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場、プロスポーツ本拠地、地域スポーツの拠点等の整備により、大型のスポーツ施設が相次いでオープンしている。これらの施設の中には、音楽イベント等への利用を想定した施設も多く、またプロスポーツのイベントではハーフタイムショーなどエンターテインメント性の高いものも多い。一方で、音楽等のイベントを主用途とする大型施設も個々に特徴を持つ施設が誕生している。

本号の特集では「大型スポーツ施設・イベント施設」を取り上げ、解説記事と事例紹介により、このような施設を計画する上での有益な情報を提供したい。

### 【1. 大型スポーツ施設・イベント施設の計画】

「建築計画」では、海外・日本の大型スポーツ施設・イベント施設の建築計画の特徴・最近の動向について先進事例を紹介・分析いただくと共に、日本の施設に求められるポイントについて解説していただいた。合わせて、意匠設計者の視点から見た施設の音響計画もご説明いただいた。

「建築音響計画」では、これらの施設のスポーツ利用・音楽イベント利用に対する最適な残響時間についてご紹介いただくと共に、室内音響計画を中心に、遮音計画・騒音防止計画まで音響的に必要な対応について解説していただいた。

「電気音響設備計画」では、スポーツ・音楽イベントを行う大型施設における電気音響設備の役割や性能指針をご説明いただくと共に、電気音響計画について常設の音響システムから仮設のシステムまで解説していただいた。

### 【2. 大型スポーツ施設・イベント施設の事例】

本特集では、最近の約5年間にオープンした大型スポーツ施設・イベント施設より、10件の施設について、施設概要、遮音・室内音響・設備騒音防止・電気音響設備等の各計画について、ご紹介いただいた。

■スポーツ利用+音楽等のイベント利用が主目的の施設、およびプロスポーツの本拠地となる施設(5施設)。

「LaLa arena TOKYO-BAY」は、2024年にオープンした民間の施設である。遮音・室内音響計画および竣工時の音響測定結果についてご紹介いただいた。

「横浜BUNTAIアリーナ」は、2024年にオープンした横浜市の施設である。遮音・室内音響計画および

竣工時の音響測定結果についてご紹介いただいた。

「オープンハウスアリーナ太田」は、2023年にオープンした群馬県太田市の施設である。遮音・室内音響・電気音響設備計画についてご紹介いただいた。

「エスコンフィールドHOKKAIDO」は、2023年にオープンした民間の施設である。電気音響設備についての詳細な検討経緯を含めた計画と竣工時の音響測定結果および室内音響計画についてご紹介いただいた。

「Qatar University Sports & Events Complex」は、2019年にカタール大学にオープンした施設である。電気音響設備の音場支援システムを導入した音響計画および竣工時の音響測定結果についてご紹介いただいた。

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、大会)の競技会場として整備されたスポーツ施設(2施設)。

「有明体操競技場」は、大会で体操・新体操等の競技会場として使用され、大会後は展示会場として改修された施設である。遮音計画では本施設のために新規開発された給気窓・排煙窓をご紹介いただくと共に、室内音響計画についてご紹介いただいた。

「東京アクアティクスセンター」は、大会では水泳の競技会場として使用された施設である。プール施設特有の事項を含め、室内音響・電気音響設備計画および竣工時の音響測定結果についてご紹介いただいた。

■音楽等のイベント利用を主目的とする施設(3施設)。

「立川ステージガーデン」は2020年にオープンした民間の大型多機能ホールである。室内音響・遮音・騒音制御計画と竣工時の音響測定結果、および電気音響設備計画についてご紹介いただいた。

「東京ガーデンシアター」は、2020年にオープンした民間の劇場型イベントホールである。遮音・騒音防止・室内音響・電気音響設備の各計画および竣工時の音響測定結果について、ご紹介いただいた。

「ぴあアリーナMM」は、2020年にオープンした民間の音楽コンサート専用アリーナである。遮音・室内音響計画および竣工時の音響測定結果について、ご紹介いただいた。

(編集委員 箱崎文子(文責)、土屋裕造)